

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成24年1月13日

【四半期会計期間】 第46期第3四半期(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)

【会社名】 エスフーズ株式会社

【英訳名】 S Foods Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 村上真之助

【本店の所在の場所】 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13

【電話番号】 (0798)43局1065番

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長
安岡信幸

【最寄りの連絡場所】 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13

【電話番号】 (0798)43局1065番

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長
安岡信幸

【縦覧に供する場所】 エスフーズ株式会社東京支店
(千葉県船橋市浜町3丁目2番3)
株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

| 回次 | 第45期 第3四半期連結 累計期間 | 第46期 第3四半期連結 累計期間 | 第45期 第3四半期連結 会計期間 | 第46期 第3四半期連結 会計期間 | 第45期 |
|------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成22年 3月1日 至 平成22年 11月30日 | 自 平成23年 3月1日 至 平成23年 11月30日 | 自 平成22年 9月1日 至 平成22年 11月30日 | 自 平成23年 9月1日 至 平成23年 11月30日 | 自 平成22年 3月1日 至 平成23年 2月28日 |
| 売上高 (千円) | 95,306,571 | 99,095,659 | 32,486,581 | 32,448,581 | 130,179,382 |
| 経常利益 (千円) | 3,258,277 | 3,212,040 | 1,075,857 | 1,258,920 | 4,763,927 |
| 四半期(当期)純利益 (千円) | 1,621,806 | 101,268 | 579,816 | 829,783 | 2,362,505 |
| 純資産額 (千円) | - | - | 33,349,819 | 35,114,225 | 34,621,598 |
| 総資産額 (千円) | - | - | 60,226,590 | 63,202,439 | 59,738,894 |
| 1株当たり純資産額 (円) | - | - | 1,077.24 | 1,130.93 | 1,117.39 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 57.90 | 3.62 | 20.70 | 29.63 | 84.34 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | - | - | 50.1 | 50.1 | 52.4 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 361,710 | 872,284 | - | - | 2,913,436 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 1,654,454 | 117,891 | - | - | 2,332,842 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 785,765 | 149,256 | - | - | 387,859 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円) | - | - | 10,161,117 | 12,876,517 | 12,349,080 |
| 従業員数 (名) | - | - | 1,305 | 1,289 | 1,288 |

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動については、「3 関係会社の状況」に記載の通りであります。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間における、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

新規

| 名称 | 住所 | 資本金 (千円) | 主要な事業 の内容 | 議決権の 所有割合 (%) | 関係内容 |
|-----------------------------|-------------|-------------------|--------------|---------------------|--------------|
| (連結子会社) 株式会社日高食肉センター | 北海道日高郡新ひだか町 | 100,500 | 食肉加工販売 | 75.6 〔45.8〕 | 役員の兼任(1名)あり。 |
| (持分法適用関連会社) 株式会社エイゼットフーズ | 光州広域市北区 | 千KRW 1,000,000 | 小売事業 | 50.0 〔50.0〕 | 役員の兼任(1名)あり。 |

(注) 議決権の所有割合は、子会社及び緊密な者又は同意している者による間接所有割合を〔〕に内書しております。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成23年11月30日現在

| | |
|---------|------------------|
| 従業員数(名) | 1,289 (1,247) |
|---------|------------------|

(注) 1 従業員数は、当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む就業人員であります。

2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第3四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

3 臨時従業員には、パートタイマー及び嘱託契約の従業員を含み、派遣社員を除いております。

(2) 提出会社の状況

平成23年11月30日現在

| | |
|---------|--------------|
| 従業員数(名) | 575 (128) |
|---------|--------------|

(注) 1 従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であります。

2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第3四半期会計期間の平均雇用人員であります。

3 臨時従業員には、パートタイマー及び嘱託契約の従業員を含み、派遣社員を除いております。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 生産高(トン) | 前年同四半期比(%) |
|-------------|---------|------------|
| 食肉等の製造・卸売事業 | 14,699 | - |
| その他 | 1,385 | - |
| 合計 | 16,085 | - |

(注) 国産牛肉の加工は、枝肉を部位別に分割する加工であるため生産実績に含めておりません。

(2) 受注実績

当社グループは受注生産を行っておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 販売高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|-------------|------------|------------|
| 食肉等の製造・卸売事業 | 26,064,488 | - |
| 食肉等の小売事業 | 5,244,184 | - |
| 食肉等の外食事業 | 1,040,201 | - |
| その他 | 99,706 | - |
| 合計 | 32,448,581 | - |

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等が行われておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結会計期間における日本経済は、東日本大震災からの立ち直りが見られるものの本格的な復興には至らず、また、欧州危機に端を発する世界的不況とタイの洪水被害により企業業績が全般的に悪化し、浮揚への道筋を見いだせない状況が続きました。

当食肉業界におきましては、震災の影響による電力逼迫や食品汚染などの混乱は収まりつつあるものの、国内景気が引き続き低迷しているため、小売・外食とも売上全般的な回復には至っておりません。

このような経営環境のもと、当社グループは、第2四半期連結会計期間に続き、スリムな企業体質の構築と、リスク管理の強化、グループ間取引・協力関係の促進など、低成長社会に適応した経営体制の確立に努めて参りました。

食肉流通の川上および川中領域においては、食肉事業基盤の安定化を図るため、前連結会計年度より着手している養豚事業の強化を行い、豚肉オリジナルブランド「夢の大地」やその他の国産及び輸入豚肉の拡販に努めました。また、より一層強まる安全・安心な食品に対する需要にお応えするため、食肉の安全性の向上や安全基準の改正を意識した生産体制の確立を図りました。川下領域においては、既存店舗のリニューアル等による活性化や新規店舗の立ち上げ、経費の見直しなどに加え、連結子会社株式会社オーエムツネットワーク及びその連結子会社との物流センターの統合やプライベート製品の共同開発など、グループ内シナジー効果の促進による経営効率の改善を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の業績は、売上高324億4千8百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益12億1千万円（前年同四半期比13.7%増）、経常利益12億5千8百万円（前年同四半期比17.0%増）、四半期純利益8億2千9百万円（前年同四半期比43.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は、「食肉等の製造・卸売事業」は売上高274億2千8百万円、セグメント利益14億1千8百万円、「食肉等の小売事業」は売上高52億4千4百万円、セグメント利益1億8千2百万円、「食肉等の外食事業」は売上高10億7千3百万円、セグメント損失7千8百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて34億6千3百万円増加し、632億2百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴い売上債権、たな卸資産が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて29億7千万円増加し、280億8千8百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務が増加したこと及び借入金が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて4億9千2百万円増加し、351億1千4百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加11億2千2百万円が、利益剰余金の減少5億7千万円を上回ったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、第2四半期連結会計期間末に比べ3億1百万円増加し、128億7千6百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは8百万円の支出（前第3四半期連結会計期間は4億2千2百万円の支出）で、主な増加要因は税金等調整前四半期純利益15億1千8百万円、減価償却費3億5千3百万円及び売上債権の減少7億3百万円であります。一方、主な減少要因は、たな卸資産の増加20億3千2百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは2千8百万円の支出（前第3四半期連結会計期間は2億7百万円の支出）で、収入の主なものは定期預金の純減額4億4千8百万円であります。一方、支出の主なものは有形固定資産の取得による支出3億9千4百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは4億8百万円の収入（前第3四半期連結会計期間は1億2千5百万円の支出）で、収入の主なものは長期借入れによる収入8億円であります。一方、支出の主なものは長期借入金の返済による支出3億3千4百万円及び配当金の支払い額3億3千3百万円であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間における当グループが支出した研究開発費の総額は2千3百万円でありま

す。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。

また、当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画は次のとおりであります。

重要な設備の新設等

| 会社名 | 事業所名 (所在地) | セグメントの 名称 | 設備の内容 | 投資予定金額 (千円) | | 資金調達 方法 | 着手及び完了予定 | |
|---------------|-------------------------|-----------------|-------|----------------|------|------------|-------------|-------------|
| | | | | 総額 | 既支払額 | | 着手 | 完了 |
| 榊日高食肉 センター | 本社 (北海道日高郡新 ひだか町) | 食肉等の製造・ 卸売事業 | 生産設備 | 2,690,000 | | 銀行等借 入 | 平成24年 3月 | 平成26年 2月 |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

重要な設備の除却等

経常的な設備の更新のための除却等を除き、重要な設備の除却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 120,000,000 |
| 計 | 120,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年11月30日) | 提出日現在 発行数(株) (平成24年1月13日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|---------------------------------|--|---------------|
| 普通株式 | 32,267,721 | 32,267,721 | 東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数 500株 |
| 計 | 32,267,721 | 32,267,721 | - | - |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|-------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成23年11月30日 | - | 32,267,721 | - | 4,298,354 | - | 11,881,796 |

(6) 【大株主の状況】

当第3四半期会計期間において、大量保有報告書等の写しの送付がないため、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年8月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） | （自己保有株式） 普通株式 4,259,500 | - | - |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 27,840,000 | 55,680 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 168,221 | - | - |
| 発行済株式総数 | 32,267,721 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 55,680 | - |

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式220株が含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式187株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年8月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%) |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|--------------------------------|
| (自己保有株数) エスフーズ株式会社 | 兵庫県西宮市鳴尾浜 1丁目22番13 | 4,259,500 | - | 4,259,500 | 13.20 |
| 計 | - | 4,259,500 | - | 4,259,500 | 13.20 |

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

| 月別 | 平成23年 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|-------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 最高(円) | 750 | 685 | 679 | 701 | 705 | 674 | 630 | 628 | 619 |
| 最低(円) | 589 | 639 | 651 | 665 | 661 | 599 | 592 | 579 | 585 |

(注) 株価は、東京証券取引所第一部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間(平成22年9月1日から平成22年11月30日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年11月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成23年9月1日から平成23年11月30日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年11月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間(平成22年9月1日から平成22年11月30日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間(平成23年9月1日から平成23年11月30日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日) |
|-------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 13,258,495 | 13,600,537 |
| 受取手形及び売掛金 | 13,157,378 | 11,764,785 |
| 有価証券 | 121,941 | 100,700 |
| 商品及び製品 | 8,185,764 | 6,147,626 |
| 仕掛品 | 1,611,719 | 1,372,510 |
| 原材料及び貯蔵品 | 873,048 | 611,113 |
| その他 | 1,274,125 | 1,234,312 |
| 貸倒引当金 | 139,431 | 136,451 |
| 流動資産合計 | 38,343,043 | 34,695,134 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 14,356,003 | 13,638,220 |
| 減価償却累計額 | 8,045,799 | 7,733,396 |
| 建物及び構築物(純額) | 6,310,203 | 5,904,823 |
| 土地 | 7,804,159 | 7,670,990 |
| その他 | 11,739,100 | 11,366,612 |
| 減価償却累計額 | 8,880,106 | 8,694,018 |
| その他(純額) | 2,858,993 | 2,672,593 |
| 減損損失累計額 | 605,416 | 635,200 |
| 有形固定資産合計 | 16,367,941 | 15,613,207 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 311,019 | 520,584 |
| その他 | 133,593 | 159,410 |
| 無形固定資産合計 | 444,613 | 679,995 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,926,586 | 5,523,706 |
| その他 | 3,261,126 | 3,398,259 |
| 貸倒引当金 | 140,871 | 171,408 |
| 投資その他の資産合計 | 8,046,841 | 8,750,557 |
| 固定資産合計 | 24,859,396 | 25,043,760 |
| 資産合計 | 63,202,439 | 59,738,894 |

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,597,247 | 8,035,053 |
| 短期借入金 | 4,454,612 | 4,105,000 |
| 未払法人税等 | 635,276 | 858,551 |
| 賞与引当金 | 914,969 | 598,120 |
| その他 | 3,842,578 | 3,380,501 |
| 流動負債合計 | 19,444,684 | 16,977,226 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 760,000 | 750,000 |
| 長期借入金 | 5,177,607 | 4,702,310 |
| 退職給付引当金 | 659,038 | 635,308 |
| 役員退職慰労引当金 | 143,845 | 155,448 |
| その他 | 1,903,037 | 1,897,002 |
| 固定負債合計 | 8,643,529 | 8,140,069 |
| 負債合計 | 28,088,213 | 25,117,296 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,298,354 | 4,298,354 |
| 資本剰余金 | 11,952,554 | 11,952,554 |
| 利益剰余金 | 18,790,643 | 19,361,583 |
| 自己株式 | 2,985,937 | 2,985,005 |
| 株主資本合計 | 32,055,615 | 32,627,486 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 211,133 | 911,400 |
| 繰延ヘッジ損益 | 10,595 | 14,830 |
| 為替換算調整勘定 | 581,128 | 403,864 |
| 評価・換算差額等合計 | 380,589 | 1,330,095 |
| 少数株主持分 | 3,439,200 | 3,324,206 |
| 純資産合計 | 35,114,225 | 34,621,598 |
| 負債純資産合計 | 63,202,439 | 59,738,894 |

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 95,306,571 | 99,095,659 |
| 売上原価 | 78,918,700 | 82,879,147 |
| 売上総利益 | 16,387,871 | 16,216,511 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,284,946 | 13,275,780 |
| 営業利益 | 3,102,924 | 2,940,731 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 20,438 | 19,135 |
| 受取配当金 | 44,800 | 53,657 |
| 負ののれん償却額 | 42,072 | 42,072 |
| その他 | 229,951 | 290,723 |
| 営業外収益合計 | 337,263 | 405,588 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 83,076 | 71,502 |
| 持分法による投資損失 | 41,837 | 3,009 |
| その他 | 56,995 | 59,767 |
| 営業外費用合計 | 181,910 | 134,279 |
| 経常利益 | 3,258,277 | 3,212,040 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 15,460 | 33,726 |
| 関係会社株式売却益 | 9,425 | - |
| 賞与引当金戻入額 | 12,074 | 19,003 |
| その他 | 4,734 | 45,725 |
| 特別利益合計 | 41,693 | 98,455 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 55,843 | 9,105 |
| 投資有価証券売却損 | 15,590 | 111,226 |
| 投資有価証券評価損 | 83,723 | 2,253,028 |
| 減損損失 | 33,053 | 40,041 |
| 店舗閉鎖損失 | 57,629 | 35,913 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | - | 118,281 |
| その他 | 18,560 | 22,311 |
| 特別損失合計 | 264,400 | 2,589,908 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,035,571 | 720,588 |
| 法人税等 | 1,407,206 | 581,547 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | - | 139,040 |
| 少数株主利益 | 6,557 | 37,772 |
| 四半期純利益 | 1,621,806 | 101,268 |

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 32,486,581 | 32,448,581 |
| 売上原価 | 27,056,183 | 26,820,167 |
| 売上総利益 | 5,430,397 | 5,628,413 |
| 販売費及び一般管理費 | 1 4,365,035 | 1 4,417,567 |
| 営業利益 | 1,065,361 | 1,210,845 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 11,309 | 6,666 |
| 受取家賃 | - | 21,736 |
| 受取配当金 | 1,155 | 4,616 |
| 負ののれん償却額 | 14,024 | 14,024 |
| その他 | 59,564 | 48,175 |
| 営業外収益合計 | 86,054 | 95,219 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 28,927 | 17,124 |
| 持分法による投資損失 | 41,583 | 2,764 |
| その他 | 5,046 | 27,255 |
| 営業外費用合計 | 75,557 | 47,144 |
| 経常利益 | 1,075,857 | 1,258,920 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,553 | 4,170 |
| 受取補償金 | 1,577 | 16,281 |
| その他 | 151 | 3,733 |
| 特別利益合計 | 3,281 | 24,185 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 4,527 | 3,646 |
| 投資有価証券評価損 | 9,502 | 257,108 |
| 減損損失 | - | 2,824 |
| 店舗閉鎖損失 | 21,592 | 11,920 |
| その他 | 3,106 | 3,622 |
| 特別損失合計 | 38,728 | 235,093 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,040,411 | 1,518,199 |
| 法人税等 | 476,117 | 692,261 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | - | 825,938 |
| 少数株主損失() | 15,523 | 3,845 |
| 四半期純利益 | 579,816 | 829,783 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,035,571 | 720,588 |
| 減価償却費 | 944,972 | 1,011,442 |
| 減損損失 | 33,053 | 40,041 |
| のれん償却額 | 339,207 | 328,974 |
| 負ののれん償却額 | 42,072 | 42,072 |
| 賞与引当金の増減額（は減少） | 339,650 | 316,848 |
| 受取利息及び受取配当金 | 65,239 | 72,792 |
| 投資有価証券評価損益（は益） | 83,723 | 2,253,028 |
| 売上債権の増減額（は増加） | 2,224,166 | 1,411,943 |
| たな卸資産の増減額（は増加） | 2,628,566 | 2,553,687 |
| 仕入債務の増減額（は減少） | 2,247,216 | 1,566,162 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | - | 118,281 |
| その他 | 28,268 | 311,616 |
| 小計 | 2,035,081 | 2,586,486 |
| 利息及び配当金の受取額 | 61,190 | 69,554 |
| 利息の支払額 | 90,308 | 75,509 |
| 法人税等の支払額 | 2,367,674 | 1,708,246 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 361,710 | 872,284 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額（は増加） | 290,600 | 823,838 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 1,309,423 | 1,078,978 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 36,914 | 5,750 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | 354,093 | - |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | - | 31,518 |
| 事業譲受による支出 | 294,957 | - |
| 短期貸付けによる支出 | 53,000 | 21,000 |
| その他 | 103,334 | 132,480 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,654,454 | 117,891 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（は減少） | 1,157,000 | 277,155 |
| 長期借入れによる収入 | 1,173,000 | 1,133,600 |
| 長期借入金の返済による支出 | 630,323 | 809,288 |
| 自己株式の取得による支出 | 369 | 931 |
| 配当金の支払額 | 639,864 | 670,148 |
| 少数株主への配当金の支払額 | 64,637 | 64,635 |
| その他 | 209,040 | 15,007 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 785,765 | 149,256 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 19,338 | 77,699 |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少） | 1,249,737 | 527,437 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 11,410,855 | 12,349,080 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 10,161,117 | 12,876,517 |

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日至平成23年11月30日) |
|--------------------|--|
| 1. 連結の範囲に関する事項の変更 | <p>(1)連結の範囲の変更 平成23年6月22日付で、連結子会社エスファーム株式会社がエスファーム遠野株式会社を新規設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。 平成23年7月28日付で、第三者割当増資に応じ過半数の株式を取得したことに伴い、イーユーフード株式会社を連結の範囲に含めております。 平成23年9月1日付で当社及び連結子会社株式会社北海道中央牧場が株式会社日高食肉センターに出資したことに伴い、連結の範囲に含めております。</p> <p>(2)変更後の連結子会社の数 22社</p> |
| 2. 持分法の適用に関する事項の変更 | <p>(1)持分法適用関連会社の変更 平成23年11月23日付で、連結子会社株式会社エスフーズコアが株式会社エイゼットフーズの株式を取得したことに伴い、持分法適用の関連会社に含めております。</p> <p>(2)変更後の持分法適用関連会社の数 3社</p> |
| 3. 会計処理基準に関する事項の変更 | <p>「資産除去債務に関する会計基準」等の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。 これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益が11,282千円、経常利益が11,349千円減少し、税金等調整前四半期純利益が129,630千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は206,038千円であります。</p> |

【表示方法の変更】

| 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日至平成23年11月30日) | |
|--|--|
| (四半期連結損益計算書関係) | 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係) | 前第3四半期連結累計期間において、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に一括表示しておりました「定期預金の純増減額(は増加)」(前第3四半期連結累計期間290,600千円)は、金額的な重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記しております。 |

| 当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日至平成23年11月30日) | |
|--|--|
| (四半期連結損益計算書関係) | 前第3四半期連結会計期間において、営業外収益の「その他」に一括表示しておりました「家賃収入」(前第3四半期連結会計期間10,073千円)は、営業外収益の100分の20を超えたため、当第3四半期連結会計期間より区分掲記しております。 |
| | 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。 |

【簡便な会計処理】

| 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日至平成23年11月30日) | |
|--|---|
| 1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法 | 当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。 |
| 2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法 | 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。 |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

| 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日至平成23年11月30日) | |
|--|--|
| 1. 税金費用の計算 | 当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。 |

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

第3四半期連結累計期間

| 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日) |
|--|--|
| 1 販売費及び一般管理費の主なもの | 1 販売費及び一般管理費の主なもの |
| 給与手当 3,476,748千円 | 給与手当 3,413,171千円 |
| 賞与引当金繰入額 629,151千円 | 賞与引当金繰入額 634,583千円 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 16,980千円 | 役員退職慰労引当金繰入額 13,140千円 |
| 貸倒引当金繰入額 36,431千円 | 貸倒引当金繰入額 65,255千円 |

第3四半期連結会計期間

| 前第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日) |
|--|--|
| 1 販売費及び一般管理費の主なもの | 1 販売費及び一般管理費の主なもの |
| 給与手当 1,135,722千円 | 給与手当 1,122,797千円 |
| 賞与引当金繰入額 224,176千円 | 賞与引当金繰入額 231,767千円 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 5,094千円 | 役員退職慰労引当金繰入額 4,593千円 |
| 貸倒引当金繰入額 2,862千円 | 貸倒引当金繰入額 7,342千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日) |
|---|---|
| 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年11月30日現在) | 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年11月30日現在) |
| 現金及び預金 11,386,651千円 | 現金及び預金 13,258,495千円 |
| 預入期間が3か月超の定期預金 1,225,533千円 | 有価証券 45,640千円 |
| | 預入期間が3か月超の定期預金 427,618千円 |
| 現金及び現金同等物 10,161,117千円 | 現金及び現金同等物 12,876,517千円 |

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

1 発行済株式の種類及び総数

| 株式の種類 | 当第3四半期 連結会計期間末 |
|-------|-------------------|
| 普通株式 | 32,267,721 |

2 自己株式の種類及び株式数

| 株式の種類 | 当第3四半期 連結会計期間末 |
|-------|-------------------|
| 普通株式 | 4,259,787 |

3 新株予約権等の四半期連結会計期間末残高等

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年5月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 336,111 | 12 | 平成23年2月28日 | 平成23年5月25日 | 利益剰余金 |
| 平成23年10月11日 取締役会 | 普通株式 | 336,096 | 12 | 平成23年8月31日 | 平成23年11月1日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

当企業グループは主として肉製品及び生肉加工品の製造、販売ならびに生肉の販売という区分に属する事業を行っており、また、市場及び販売方法等についても類似しております。

また、その他の事業については金額が少額のため事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)

| | 日本 (千円) | アメリカ 合衆国(千円) | その他 (千円) | 計 (千円) | 消去又は 全社(千円) | 連結 (千円) |
|--------------------------|------------|-----------------|-------------|------------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1)外部顧客に 対する売上高 | 31,915,797 | 570,783 | - | 32,486,581 | - | 32,486,581 |
| (2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | 403,146 | - | 403,146 | (403,146) | - |
| 計 | 31,915,797 | 973,929 | - | 32,889,727 | (403,146) | 32,486,581 |
| 営業利益又は営業損失 () | 1,067,011 | 8,522 | 1,580 | 1,073,952 | (8,591) | 1,065,361 |

(注) その他の区分に属する主な国又は地域は韓国であります。

前第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

| | 日本 (千円) | アメリカ 合衆国(千円) | その他 (千円) | 計 (千円) | 消去又は 全社(千円) | 連結 (千円) |
|--------------------------|------------|-----------------|-------------|------------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1)外部顧客に 対する売上高 | 93,723,577 | 1,582,994 | - | 95,306,571 | - | 95,306,571 |
| (2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 5,970 | 1,025,263 | - | 1,031,233 | (1,031,233) | - |
| 計 | 93,729,547 | 2,608,257 | - | 96,337,805 | (1,031,233) | 95,306,571 |
| 営業利益又は営業損失 () | 3,055,327 | 77,302 | 2,912 | 3,129,716 | (26,791) | 3,102,924 |

(注) その他の区分に属する主な国又は地域は韓国であります。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、総合食肉企業集団を目指しており、構成企業は畜産、食肉関連製品の製造・加工、食肉商品の卸販売、同じく小売、そして飲食サービスまでの一貫した食肉サプライ・チェーンの機能を単一又は複合的に分担し、当社は包括的な戦略を立て全体を統括しながら事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、食肉の製品・サービスを基礎とする生産・流通機能別のセグメントから構成されており、食肉生産及び食肉製品の製造並びに食肉商品の卸販売を主たる事業領域とする「食肉等の製造・卸売事業」と食肉製品・商品の一般消費者向け販売を主たる事業領域とする「食肉等の小売事業」及び肉料理の一般消費者向けサービスを主たる事業領域とする「食肉等の外食事業」の3つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3 |
|-----------------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|----------------------------|
| | 食肉等の製造 ・卸売事業 | 食肉等の小売 事業 | 食肉等の外食 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 80,034,711 | 14,999,452 | 3,308,954 | 98,343,118 | 752,540 | 99,095,659 | - | 99,095,659 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 4,453,680 | 396,590 | 101,471 | 4,951,742 | 3,852 | 4,955,594 | 4,955,594 | - |
| 計 | 84,488,391 | 15,396,042 | 3,410,426 | 103,294,860 | 756,393 | 104,051,253 | 4,955,594 | 99,095,659 |
| セグメント利益又は 損失() | 3,297,238 | 670,857 | 176,853 | 3,791,242 | 30,899 | 3,822,141 | 881,409 | 2,940,731 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 881,409千円には、セグメント間取引消去 140,352千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 741,057千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間（自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注)3 |
|-----------------------|-----------------|--------------|--------------|------------|-------------|------------|-------------|---------------------------|
| | 食肉等の製造 ・卸売事業 | 食肉等の小売 事業 | 食肉等の外食 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 26,064,488 | 5,244,184 | 1,040,201 | 32,348,875 | 99,706 | 32,448,581 | - | 32,448,581 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 1,363,638 | 180 | 33,262 | 1,397,080 | 1 | 1,397,082 | 1,397,082 | - |
| 計 | 27,428,126 | 5,244,364 | 1,073,464 | 33,745,955 | 99,708 | 33,845,663 | 1,397,082 | 32,448,581 |
| セグメント利益又は 損失() | 1,418,391 | 182,055 | 78,930 | 1,521,516 | 17,376 | 1,504,140 | 293,294 | 1,210,845 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 293,294千円には、セグメント間取引消去 39,556千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 253,738千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められません。

(有価証券関係)

当社グループが保有している有価証券は、企業集団の事業の運営において重要なものではありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループが行っておりますデリバティブ取引は、企業集団の事業の運営において重要なものではありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

重要な該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

| 当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日) | 前連結会計年度末 (平成23年2月28日) |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1,130.93円 | 1,117.39円 |

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

| 項目 | 当第3四半期 連結会計期間末 (平成23年11月30日) | 前連結会計年度末 (平成23年2月28日) |
|---------------------------------|------------------------------------|--------------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 35,114,225 | 34,621,598 |
| 普通株式に係る純資産額(千円) | 31,675,025 | 31,297,391 |
| 差額の主な内訳(千円) | | |
| 少数株主持分 | 3,439,200 | 3,324,206 |
| 普通株式の発行済株式数(株) | 32,267,721 | 32,267,721 |
| 普通株式の自己株式数(株) | 4,259,787 | 4,258,402 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式 の数(株) | 28,007,934 | 28,009,319 |

2 1株当たり四半期純利益金額等

第3四半期連結累計期間

| 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日) |
|---|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 57.90円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額に ついては、潜在株式が存在しないため記載しておりませ ん。 | 1株当たり四半期純利益金額 3.62円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額に ついては、潜在株式が存在しないため記載しておりませ ん。 |

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日) |
|------------------------|--|--|
| 四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円) | 1,621,806 | 101,268 |
| 普通株式に係る四半期純利益(千円) | 1,621,806 | 101,268 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 28,010,333 | 28,008,515 |

第3四半期連結会計期間

| 前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日) |
|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 20.70円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。 | 1株当たり四半期純利益金額 29.63円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。 |

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

| 項目 | 前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日) |
|------------------------|--|--|
| 四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円) | 579,816 | 829,783 |
| 普通株式に係る四半期純利益(千円) | 579,816 | 829,783 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 28,010,265 | 28,008,033 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第46期（平成23年3月1日から平成24年2月29日まで）中間配当については、平成23年10月11日開催の取締役会において、平成23年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

| | |
|--------------------|------------|
| 配当金の総額 | 336,096千円 |
| 1株当たりの金額 | 12円 |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成23年11月1日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 1月13日

エスフーズ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松井隆雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林礼治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエスフーズ株式会社の平成22年3月1日から平成23年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年9月1日から平成22年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エスフーズ株式会社及び連結子会社の平成22年11月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 1月13日

エスフーズ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松井隆雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林礼治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエスフーズ株式会社の平成23年3月1日から平成24年2月29日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エスフーズ株式会社及び連結子会社の平成23年11月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。